

事業番号	09 03 03	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	野生鳥獣被害総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
		実施期間	H17 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	6-1 個性豊かな地域づくりの推進				


### 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】
	○野生鳥獣による農作物被害の現状は、H20年度から12年連続で減少しているものの、令和2年度農林業被害額は、741,891千円で依然高い水準にある。 ○野生鳥獣の生息区域の広域化や、中山間地域の集落活動の低下、狩猟者の減少・高齢化などへの対応が必要になっている。
	【目指す姿】 ○集落全体で住民自らが地域の実情に合わせて、防除対策・捕獲対策・生息環境対策・ジビエ振興を複合的に組み合わせた被害対策が実施され、将来的にも持続可能な自立した防除体制が構築されている。
	【実施内容】 ○地域における被害防止を図るため、侵入防止柵や捕獲機材の導入等を支援

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	野生鳥獣による農林業被害額(千円)	千円	739,890	741,891	↓	730,637(速報値)	↑	667,750	未達成
2									
3									
4									
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
前年度繰越額			
当初予算額	132,539	157,393	252,458
補正予算額			-14,030
合計(A)	132,539	157,393	238,428
うち一般財源	549	539	522
決算額(B)	131,665	157,329	163,531
職員数(人)	6.0	6.0	6.0

成果指標及び目標値の設定理由	1.過去の被害減少率を参考に前年度マイナス5%を設定
達成状況の分析	1.農業被害は昨年度より減少したものの、クマ等による林業被害が増加したため、農林業全体として目標を達成することができなかった。

主な取組	○総合被害対策の支援 地域における被害防止を図るため、国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用して市町村等が行う侵入防止柵の購入・設置や捕獲機材の導入等を支援 ・侵入防止柵設置距離 約40km	 鳥獣害対策研修会
	○鳥獣被害対策チームによる被害集落の活動支援 県下10地域振興局毎に組織した鳥獣被害対策チーム(林務課、農業農村支援センター職員)による地域毎の集落支援活動(電気柵設置講習会等)に係る取組を推進	

### 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	野生鳥獣による農林業被害は依然として高い水準にあり、中山間地域における集落住民の高齢化や捕獲活動の担い手である狩猟者の減少や高齢化等への対応が必要である。	集落の住民自らが、防除、捕獲対策等に取り組むよう、県対策チームによる働きかけと支援を強化する。

事業番号 09 03 03 細事業一覧 (令和3年度実施事業分) 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	野生鳥獣被害総合対策事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	--------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	野生鳥獣被害対策事業	131,665 千円	157,329 千円	163,531 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	鳥獣被害防止総合対策事業	交付金	4市町村及び39地域協議会による総合被害対策の取組に対して支援
2	野生鳥獣対策支援体制整備事業	直接	鳥獣及び被害防除に関する知識を備えた専門技術員による被害対策チーム指導に係る経費
3	集落組織体制整備事業	直接	振興局毎に設置されている被害対策チームによる集落支援活動経費